



今年で設立30周年を迎えた「ゆりの会」のみなさま、おめでとうございます♪

～布は立体的で温もりがあり、心が安らく～

手作り布のおもちゃ・絵本の
市民ボランティアグループ「ゆりの会」



見学に行ってきました!!

9月28日(水)長崎市立図書館にて

手仕事が好きなメンバーが集まり布おもちゃや絵本作りのボランティア活動をする「ゆりの会」その作業場にお邪魔しました。部屋の中に入るなり絵本や布おもちゃの完成度の高さにビックリ!! 1つ1つにねりに手作業で作られた絵本は1ページ1ページに取り外しの出来る工夫がされ布の柔らかい手触りとその温もりが感じられました。長いものでは1年以上も製作に用いるのもうなづけます。点字をつけて市立図書館に寄贈された布絵本達は簡単に閲覧室で手に取ることができます。「布地は母親の肌につく第2の出会い」といわれ子どもが触って落ちつく効果があるそうゆゆ一度図書館の児童コーナーに遊びに来てみては!?



委員感想

- 「布地は母親の肌につく第2の出会い」と言われるようで、手触りから感じる温もり、作り手の思いなども伝わってきて、とても感動した。
- 布の絵本が目が見えない我が子に絵本をといて母親の思いから生まれたと言うのはじめて知った。小さい部分も丁寧に、布の材質にもこだわって作ってあった。かわいい仕掛けも多く、めくるだけではなく遊ぶこともできた。
- どの作品もとても素敵だった。目の見ない子どもも触ってわかる、誰もが楽しめる絵本を心を込めて大切に作っておられることがよく分かった。
- 皆様、和気あいあいと作業をされていてとても楽しそうだった。いつか子育てが落ち着いてから参加してみたいなと思った。



布絵本を見ながらお話を聞きました。

<ゆりの会>

活動日:毎月第1・第2・第3水曜日および第3土曜日

活動時間:10:00~15:00

活動場所:長崎市立図書館(3階ボランティア室)



※現在20数名の会員で、活動しています。

布絵本は点字を付けて、市立図書館に寄贈しています。

定期的に子育て支援施設や盲学校などに貸し出しを行っています。

手仕事が好きな方、布の温もりを感じながら一緒に活動してみませんか。ぜひ一度見学へお越しください♪

問い合わせ先:ゆりの会 代表近藤(tel)095-878-9152



楽しそうに作業されていました♪